



なつめ 8月号

(編集・発行)
鹿児島市立喜入小学校
(発行日)
令和3年8月20日

残暑お見舞い申し上げます



風雨の中 咲いて立つひまわり

校長 内村 英人

今年は、東京オリンピック、新型コロナウイルス感染拡大、そして豪雨の夏でした。オリンピックの開催について様々な意見がある中、アスリートたちの「様々な意見があることは理解しています。このような中、開催して下さったことに感謝します。」という言葉は、胸に迫るものがありました。

学校教育においてもしかりです。コロナ禍であっても、子どもたちの学校生活を少しでも充実させるために、教育活動をどのように行うのかという一大命題が課せられていることを、オリンピックのアスリートたちの姿をテレビで見ながら考えさせられました。保護者の皆様に御協力いただいた学校評価において、「コロナ禍のためにいろいろと制限されすぎていて残念です。」という御意見がありました。よく分かります。様々な立場・意見があり、そのどれにも理由がありそれぞれに正義があります。オリンピック観戦が終わるたびに、「さて、どうするかな。」と、知らず知らずにつぶやいていた夏でした。

さて、裏面及び別紙に、学校評価の結果を集約したものを掲載いたします。1学期の評価結果を踏まえ、2学期は、次の指導を重点として取り組んでまいります。

- 1 子どもが質問・説明しながら納得解を創り出す授業を目指すこと
- 2 調べる読書、テーマを決めた読書経験をさせること
- 3 縄跳び運動やチャレンジかごしまに取り組むこと
- 4 元気なあいさつが進んでできるようにすること

これらの取組が充実するように、学校・家庭・地域が、子どもの教育への責任を分かち合い協働する取組を推進していきましょう。

夏休みも残りわずかです。8月20日に予定していた出校日は、県が独自に緊急事態宣言を発令したこと、市内において児童生徒の感染が増えてきていること等から中止いたしました。感染が拡大し、2学期開始に影響することを防ぐための措置ですので御理解ください。

残りの休みの期間は、2学期にいいスタートをきるための準備期間です。御家庭におかれては、怪我や病気をせず元気に過ごすことを一番にしつつ、夏休みを振り返ったり2学期への決意について語り合ったりして、生活や気持ちの切り替えを促す手助けをしてください。

～修学旅行の検討の状況について～

新型コロナウイルス感染拡大により、県は独自に緊急事態宣言を発令しました。修学旅行(9/14・15)については、熊本旅行を断念し、県内旅行案で準備を進めております。しかし、現時点では、まん延防止重点措置が9月12日までであること等を踏まえると、延期も含めて検討が必要な状況です。延期をするにしても事態が鎮静化する時期の予測は困難です。いずれにしても6年生のために実施の方向で検討は進めてまいります。

抵抗力を高めましょう(十分な睡眠 適度な運動 バランスのとれた食事)